

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号																																							
◆C-7-1-2																																							
事業名																																							
復興ふれあい広場整備事業																																							
事業費																																							
総 額 49,600,000 円																																							
事業期間																																							
平成24年度～平成25年度																																							
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）																																							
三陸鉄道普代駅前に広場を造成し、海産物等のPR促進・販路拡大事業を行うとともに、震災後懸念されている地域コミュニティ機能の再生・活性化を図ることを目的とする。																																							
事業結果																																							
- 平成24年度 用地買収 718㎡、設計業務委託 - 平成25年度 建設工事一式 （工事概要） 盛土工 A=1,009㎡、アスファルト舗装工 A=366㎡、インターロッキング舗装 A=433㎡																																							
事業の実績に関する評価																																							
○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。 水産業共同利用施設で生産した海産物等のPR活動や企業訪問を行うことで、販路拡大や販売の促進に大きな効果が見込まれる。 また、地域のイベント等にも活用されており、地域コミュニティの活性化を促進する拠点となるものと認められている。 【復興ふれあい広場で開催された主なイベント】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日時</th> <th>イベント名</th> <th>主催団体</th> <th>入込客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年7月13日</td> <td>ふだいまると元気市</td> <td>同実行委員会</td> <td>800 人</td> </tr> <tr> <td>平成27年3月11日</td> <td>東日本大震災追悼イベント</td> <td>同実行委員会</td> <td>300 人</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月27日</td> <td>ふだいまつり前夜祭</td> <td>上組若蓮</td> <td>300 人</td> </tr> <tr> <td>平成28年3月11日</td> <td>東日本大震災追悼イベント</td> <td>同実行委員会</td> <td>300 人</td> </tr> <tr> <td>平成28年9月18日</td> <td>復興祈願祭</td> <td>上組若蓮</td> <td>400 人</td> </tr> <tr> <td>平成29年3月11日</td> <td>東日本大震災追悼イベント</td> <td>同実行委員会</td> <td>300 人</td> </tr> <tr> <td>平成29年8月31日</td> <td>ふだいまつり合同前夜祭</td> <td>下組若蓮・上組若蓮</td> <td>500 人</td> </tr> <tr> <td>平成29年9月1日～3日</td> <td>ふだいまつり</td> <td>同実行委員会</td> <td>3,000 人</td> </tr> </tbody> </table> ○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 当該施設は、普代駅を利用する観光客や周辺の住民に利用されているほか、イベント会場にも活用されるなど、多くの方に利用されている。また、各イベント等の開催により観光客の誘客も図ることができ、地域経済の活性化にも繋げることができた。 ② コストに関する調査・分析・評価 盛土資材に三陸沿岸道路工事の残土を使用し、コスト削減に努めた。				開催日時	イベント名	主催団体	入込客数	平成26年7月13日	ふだいまると元気市	同実行委員会	800 人	平成27年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300 人	平成27年8月27日	ふだいまつり前夜祭	上組若蓮	300 人	平成28年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300 人	平成28年9月18日	復興祈願祭	上組若蓮	400 人	平成29年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300 人	平成29年8月31日	ふだいまつり合同前夜祭	下組若蓮・上組若蓮	500 人	平成29年9月1日～3日	ふだいまつり	同実行委員会	3,000 人
開催日時	イベント名	主催団体	入込客数																																				
平成26年7月13日	ふだいまると元気市	同実行委員会	800 人																																				
平成27年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300 人																																				
平成27年8月27日	ふだいまつり前夜祭	上組若蓮	300 人																																				
平成28年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300 人																																				
平成28年9月18日	復興祈願祭	上組若蓮	400 人																																				
平成29年3月11日	東日本大震災追悼イベント	同実行委員会	300 人																																				
平成29年8月31日	ふだいまつり合同前夜祭	下組若蓮・上組若蓮	500 人																																				
平成29年9月1日～3日	ふだいまつり	同実行委員会	3,000 人																																				

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
用地買収	H24. 4. 1 ～ H24. 5. 31	H24. 4. 1 ～ H25. 2. 27
設計業務	H24. 5. 1 ～ H24. 6. 30	H25. 2. 4 ～ H25. 3. 6
整備工事	H24. 6. 1 ～ H24. 8. 31	H25. 11. 21 ～ H26. 3. 25

用地買収に時間を要したため、設計業務、工事とも予定より大幅に遅れる結果となった。

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号 0 1 9 4 - 3 5 - 2 1 1 4 (内線 1 4 2)

【着工前】



【竣工後】



【イベントの様子】

ふだいまつり合同前夜祭



復興祈願祭



ふだいまるごと元気市



東日本大震災追悼イベント





【復興ふれあい広場の位置図】



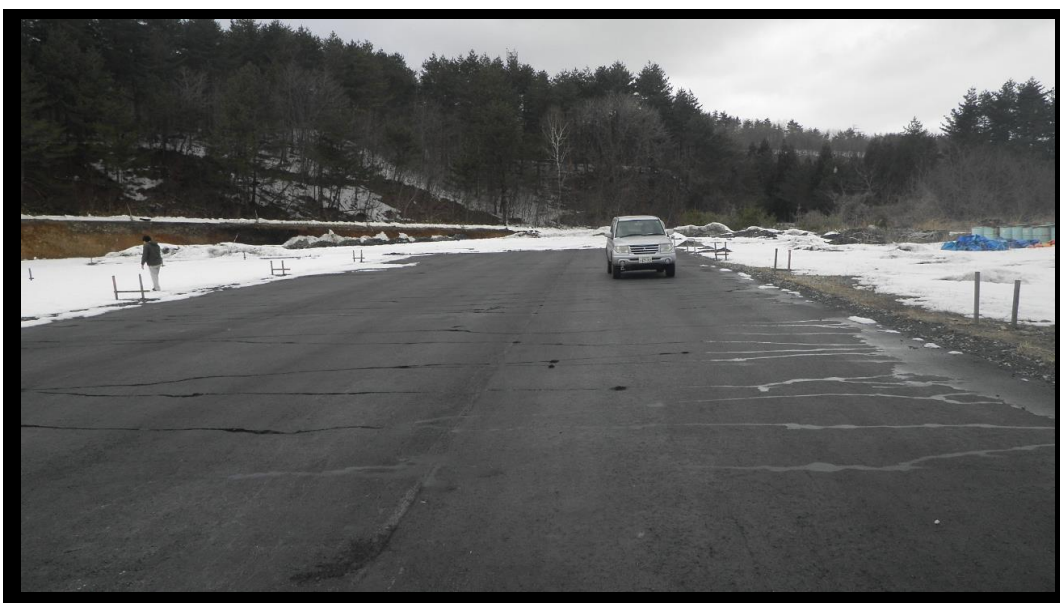
【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号											
C-7-2											
事業名											
漁具保管修理施設整備事業											
事業費											
総 額	35,925,750 円										
事業期間											
平成24年度											
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）											
東北地方太平洋沖地震の津波で発生したガレキにより、今まで利用していた網干場が、ガレキ置き場となり利用できない状況となっている。また、代替えとして使用した公共利用施設の空き地等では、周辺住民から臭いについての苦情もあることから、水産業の振興の安定化を図ることを目的とし、集落から離れた村有地に網干場及び漁具修繕施設を整備するものである。											
事業結果											
・平成24年度 整備工事（和野山、鳥居地区） （工事概要） 和野山地区 アスファルト舗装工 A=3,200m² 鳥居地区 アスファルト舗装工 A= 750m²											
事業の実績に関する評価											
○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。 漁具保管修理施設整備と併せて、漁具保管倉庫等の施設も（事業実施主体：普代村漁業協同組合）整備されており、地域の水産業の振興を促進する拠点になるものと期待されている。 ○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 当該施設は、多くの漁業者に利用されており、漁具保管修理施設が整備されたことにより漁業活動の安全性及び効率性の向上が図られている。 【漁具保管修理施設利用漁家戸数】 ・和野山地区：43戸 ・鳥居地区：55戸 ② コストに関する調査・分析・評価 漁業協同組合と村の用地に施設を整備することにより、用地費等の削減に努めた。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想 定 事 業 期 間</th> <th>実 際 の 事 業 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・設計</td> <td>H24.6.1 ～ H24.7.31</td> <td>H24.10.1 ～ H24.11.30</td> </tr> <tr> <td>整備工事</td> <td>H24.7.1 ～ H24.10.31</td> <td>H24.11.13 ～ H25.2.16</td> </tr> </tbody> </table> 用地選定（調査）に時間を要したことから、工事着手に遅れが生じた。用地選定に係った時間を除けば、概ね適切な工期と評価できる。				想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間	調査・設計	H24.6.1 ～ H24.7.31	H24.10.1 ～ H24.11.30	整備工事	H24.7.1 ～ H24.10.31	H24.11.13 ～ H25.2.16
	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間									
調査・設計	H24.6.1 ～ H24.7.31	H24.10.1 ～ H24.11.30									
整備工事	H24.7.1 ～ H24.10.31	H24.11.13 ～ H25.2.16									
事業担当部局											
普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）											

【和野山地区漁具保管修理施設】



【鳥居地区漁具保管修理施設】



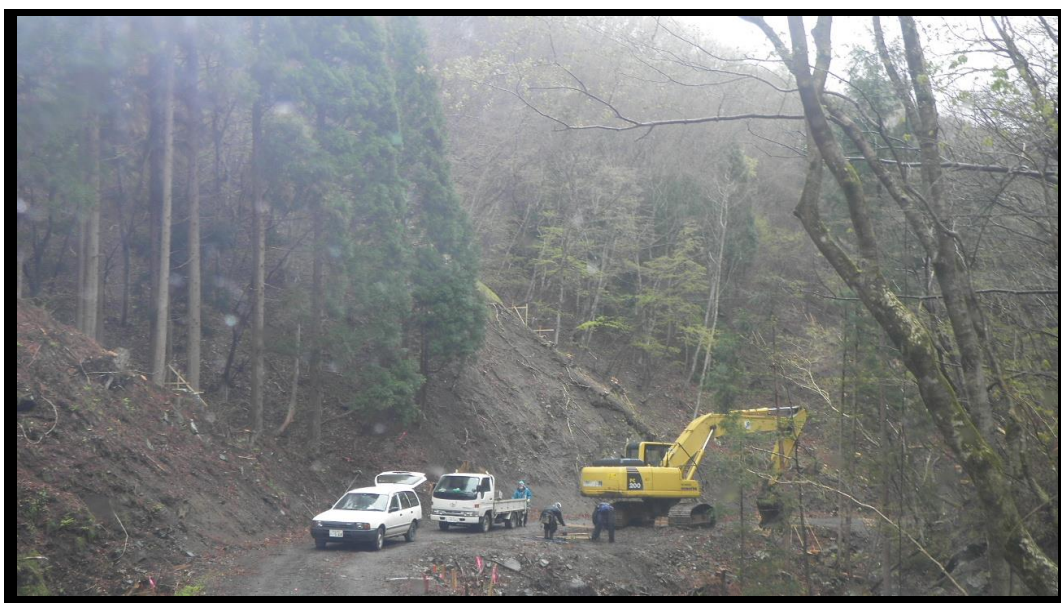
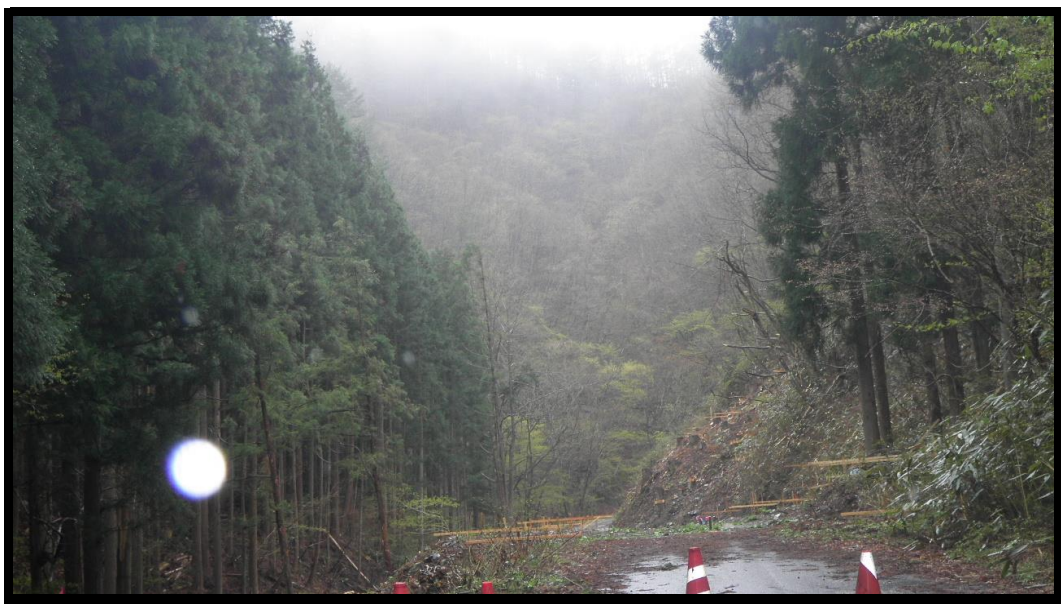
【漁具保管修理施設の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号														
D-1-1														
事業名														
津波に対応した避難道路整備事業														
事業費														
総 額 127,901,889 円														
事業期間														
平成24年度～平成25年度														
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）														
東北地方太平洋沖地震の津波の際に太田名部地区の住居は防潮水門により守られたが、水門より海側に位置する主要道である県道岩泉平井賀普代線が通行止めとなり、太田名部地区は孤立状態となった。このため、村道上の沢線を改良（拡幅・舗装等）することで、車両及び歩行者の安全な通行を確保し、太田名部地区の孤立解消を図ることを目的とする。														
事業結果														
・平成24年度 用地買収 9061.44m² 測量設計業務委託 建設工事一式（1号工事） L=534.2m（土工、擁壁工、ブロック積み工） ・平成25年度 建設工事一式（2号工事） L=534.2m（法面工、排水構工、舗装工）														
事業の実績に関する評価														
○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。 避難道路を整備したことにより迅速かつ正確な情報収集・情報伝達（第1避難所の避難者確認、第2避難所への誘導指示等）が可能となり、太田名部地区住民の安全に寄与することができた。 また、太田名部地区が孤立解消されたことにより、第2避難所へ避難者を迅速に避難させることが可能となった。 ○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に避難路として活用された例はないが、防災訓練等の際に、施設を活用した訓練が、平成26年度から毎年実施されており、地域住民の方が参加するなど、地域防災力向上のために有益に活用されている。 ② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いていること等により、適正なコストと認められる。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想 定 事 業 期 間</th> <th>実 際 の 事 業 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地買収</td> <td>H24.4.1 ～ H24.5.31</td> <td>H24.4.1 ～ H25.1.31</td> </tr> <tr> <td>設計業務</td> <td>H24.4.1 ～ H24.6.30</td> <td>H24.8.3 ～ H24.11.6</td> </tr> <tr> <td>整備工事</td> <td>H24.8.1 ～ H25.6.30</td> <td>H25.11.15 ～ H26.3.20</td> </tr> </tbody> </table> 用地買収に時間を要したため、設計業務、工事とも予定より大幅に遅れる結果となった。				想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間	用地買収	H24.4.1 ～ H24.5.31	H24.4.1 ～ H25.1.31	設計業務	H24.4.1 ～ H24.6.30	H24.8.3 ～ H24.11.6	整備工事	H24.8.1 ～ H25.6.30	H25.11.15 ～ H26.3.20
	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間												
用地買収	H24.4.1 ～ H24.5.31	H24.4.1 ～ H25.1.31												
設計業務	H24.4.1 ～ H24.6.30	H24.8.3 ～ H24.11.6												
整備工事	H24.8.1 ～ H25.6.30	H25.11.15 ～ H26.3.20												
事業担当部局														
普代村総務課政策推進室 電話番号0194-35-2114（内線142）														

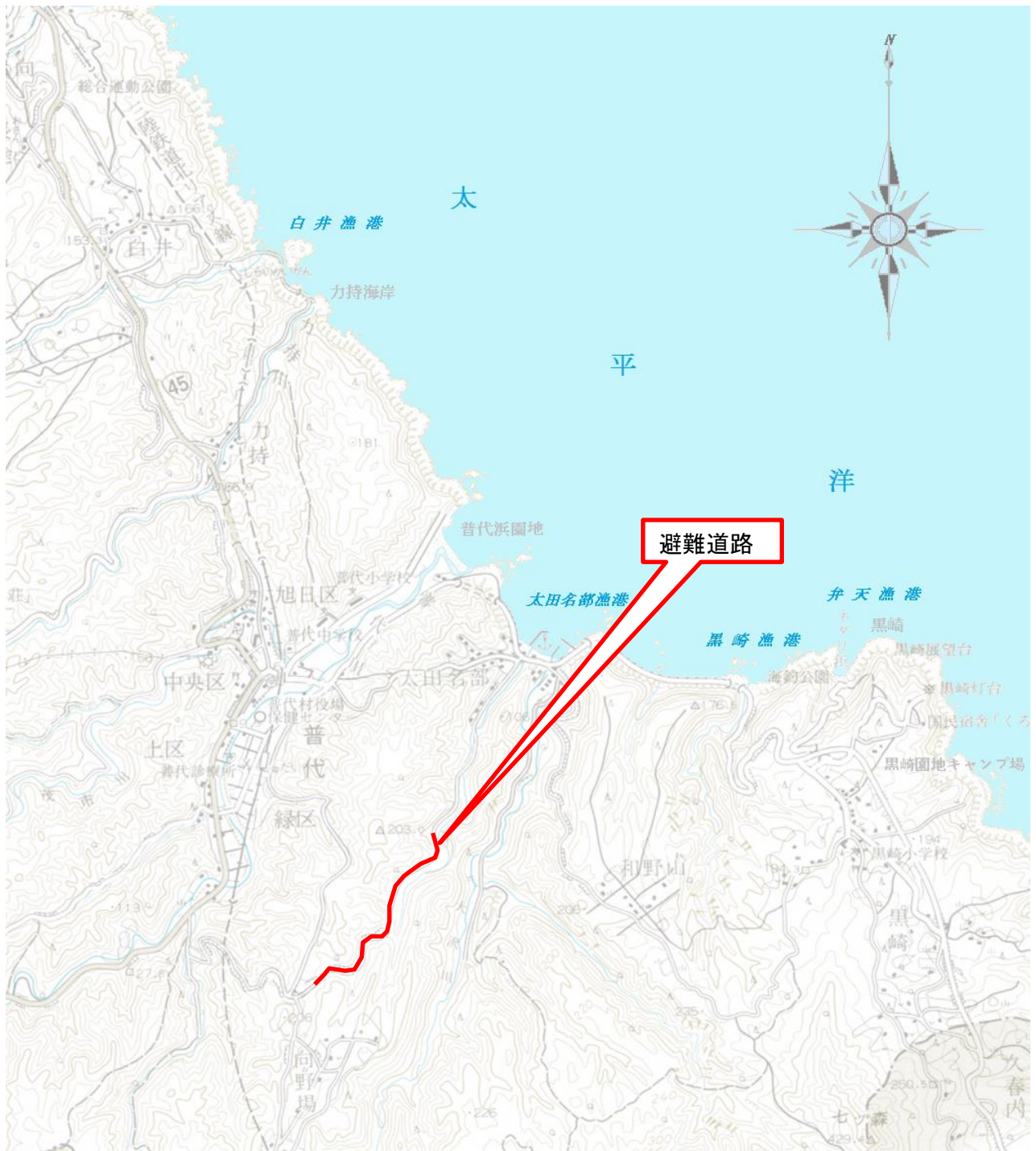
【竣工前】



【竣工後】



【避難道路の位置図】



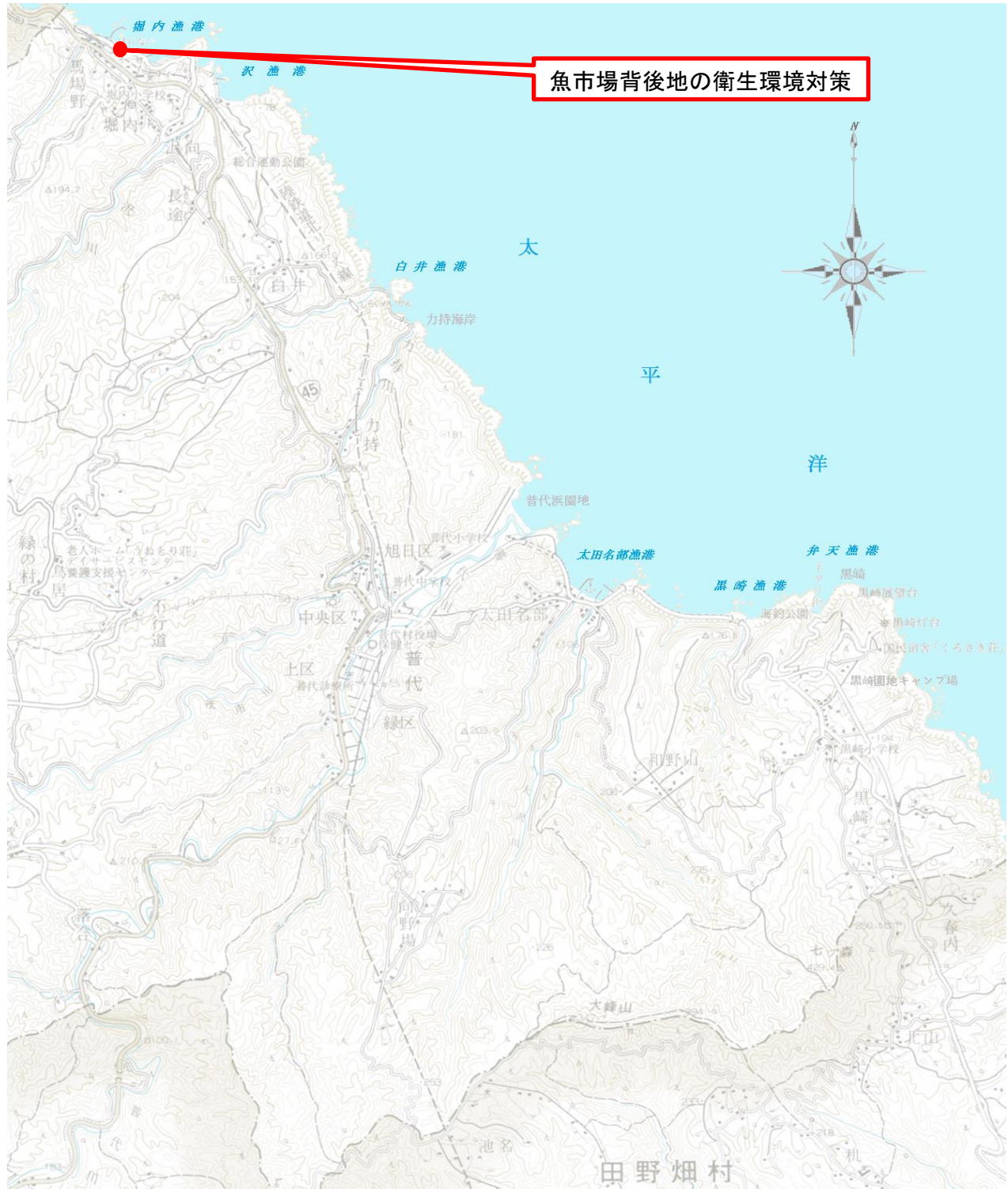
【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号								
◆ F - 1 - 1 - 1								
事業名								
漁業集落復興効果促進事業（魚市場背後地の衛生環境対策事業）								
事業費								
総 額	10,500,000 円							
事業期間								
平成 2 4 年度								
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）								
堀内地区仮設番屋周辺の用地舗装及び加工用水管の整備を行い、堀内荷さばき施設背後地の衛生管理を図ることを目的とする。								
事業結果								
・平成24年度 建設工事一式 （工事概要） アスファルト舗装工 A=26㎡ プレキャストU型側溝（300） L=154m プレキャストU型側溝（250） L=78m								
事業の実績に関する評価								
○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。 当該事業により、堀内荷さばき施設背後地の衛生管理が維持されるとともに、漁業者の漁業活動の安全性及び水産業振興の安定化が図られている。 ○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 当該施設は多くの漁業者が通年に亘って日中から夜間まで利用しており、本事業で整備されたことで、砂利粉塵の抑制や水道整備により、水産物や漁具の水洗が容易になったことで漁業関係者の衛生面や快適性の維持が図られた。 ② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いており、妥当であると考えられる。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想 定 事 業 期 間</th> <th>実 際 の 事 業 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備工事</td> <td>H24. 11. 20 ～ H25. 2. 28</td> <td>H25. 2. 8 ～ H25. 3. 20</td> </tr> </tbody> </table> 概ね予定どおり事業を進めることができた。				想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間	整備工事	H24. 11. 20 ～ H25. 2. 28	H25. 2. 8 ～ H25. 3. 20
	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間						
整備工事	H24. 11. 20 ～ H25. 2. 28	H25. 2. 8 ～ H25. 3. 20						
事業担当部局								
普代村総務課政策推進室 電話番号 0 1 9 4 - 3 5 - 2 1 1 4（内線 1 4 2）								

【魚市場背後地の衛生環境対策】



【漁業集落復興効果促進事業の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号								
◆ F - 1 - 1 - 1								
事業名								
漁業集落復興効果促進事業（避難誘導機器整備事業）								
事業費								
総 額	6,264,000 円							
事業期間								
平成 2 6 年度								
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）								
東北地方太平洋沖地震の津波により被災した沢漁港、まついそ公園に避難路及び避難誘導機器を整備し、地震・津波に対する機能強化を図ることを目的とする。								
事業結果								
・平成27年度 整備工事一式 （工事概要） 誘導標識設置 N=2基 手摺設置 L=102m 路盤工 A=125m ²								
事業の実績に関する評価								
○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。 当該事業により、避難対策施設として堀内・沢地区避難階段や津波避難誘導標識等を設置したことで、沿岸地区の住民や観光客の避難安全性の確保が図られた。 ○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 これまで、避難勧告発令等の災害事象が発生していないため、実際に避難路として活用された例はないが、防災訓練等の際に、施設を活用した訓練が、平成26年度から毎年実施されており、地域住民の方が参加するなど、地域防災力向上のために有益に活用されている。 ② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いており、妥当であると考えられる。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想 定 事 業 期 間</th> <th>実 際 の 事 業 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備工事</td> <td>H27.2.9 ～ H27.3.28</td> <td>H27.2.10 ～ H27.3.17</td> </tr> </tbody> </table> 概ね予定どおり事業を進めることができた。				想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間	整備工事	H27.2.9 ～ H27.3.28	H27.2.10 ～ H27.3.17
	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間						
整備工事	H27.2.9 ～ H27.3.28	H27.2.10 ～ H27.3.17						
事業担当部局								
普代村総務課政策推進室 電話番号 0 1 9 4 - 3 5 - 2 1 1 4 （内線 1 4 2）								

【避難誘導機器】



【漁業集落復興効果促進事業の位置図】



【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆C-7-1-3
事業名	海産物直売施設整備事業
事業費	総 額 39,572,000 円
事業期間	平成28年度
事業目的・事業地区（別紙として地図を添付）	東北地方太平洋沖地震の津波により全壊した太田名部レストハウス（売店）を移転整備し、水産業共同利用施設で生産した海産物等のPR促進・販路拡大事業を行うとともに、震災により激減した観光客の増加と地域経済の復興及び活性化を図る。
事業結果	・平成28年度 設計業務委託 工事監理業務委託 建築工事一式 (工事概要) 海産物直売施設：木造 平屋建、延床面積118.83㎡、
事業の実績に関する評価	○ 復興交付金事業の有用性、経済性や復興交付金事業計画の実施に当たり県又は市町村において改善が可能であった点を踏まえ、事業の実績評価を記載してください。 水産業共同利用施設で生産した海産物等のPR活動や販売を行うことで、販路拡大や販売促進に大きな効果が見込まれる。 ○ この際、下記①から③までの調査・分析・評価に基づき、有用性、経済性及び改善が可能であった点を検討し、その結果を記載してください。 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本年度からの店舗の営業を開始。太田名部自治会に管理運営を委託して、C-7-1事業で整備した業者の水産加工品などを販売している。施設周辺には普代元村地区を津波から守った普代水門、観光地である普代浜園地があることから観光客の集客が大いに期待されているが、周辺の公園整備がまだ完了していない発展途上にある。今後の整備次第で大きく発展する可能性もあると考えられる。 【同地で開催されたイベント】 ・ビーチバレーボール大会（平成29年8月6日開催） ・トレイルウォーク（平成29年7月16日開催） ・ビーチヨガ（平成29年7月30日開催） ・BBQ×ビアガーデン（平成29年7月30日開催） ・イーハトーブトライアル大会（平成29年8月26日開催） ② コストに関する調査・分析・評価 事業費積算においては、岩手県の積算基準などの適切な算定根拠を用いており、妥当であると考えられる。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想 定 事 業 期 間	実 際 の 事 業 期 間
設計業務	H28.4.1 ～ H28.4.30	H28.4.11 ～ H28.5.17
工事監理業務	H28.8.1 ～ H28.12.31	H28.8.24 ～ H29.3.28
建築工事	H28.8.1 ～ H28.12.31	H28.9.6 ～ H29.3.20

設計業務については概ね予定どおり事業を進めることができたが、建築工事については、平成28年度、台風10号の被害等の影響により工期が大幅に遅れた。村としては、工事完了時期を契約時に確認していたが、当該施設の工事契約業者が、近隣の市町村の住宅等施設の撤去や再建などの作業の要請を受けて災害復旧を優先的に行ったことから、工事着手が延期された。かかる事態は村外とはいえ近隣地域で発生した想定外の自然災害によるものであり、この対応はやむを得ないものと村では考えている。（工期延長に伴う事業費への影響は、生じていないものである。）

事業担当部局

普代村総務課政策推進室 電話番号 0194-35-2114（内線142）

【海産物直売施設】



【海産物直売施設の位置図】

